

CSF(豚コレラ)(国内52例目)

沖縄県で患畜が確認されました

<発生施設の概要>

所在地: 沖縄県うるま市

飼養状況: 393頭

<経緯>

- ・ 沖縄県は、1月6日(月)、農場から飼養豚が死亡しているとの報告を受け、家畜防疫員による立入検査を実施。
- ・ 家畜保健衛生所の検査で、CSFの疑いが生じたため、国で遺伝子解析を実施したところ、1月8日(水)、CSFの患畜であることが判明。
- ・ 当該農場と飼養管理者が同一である農場(同県うるま市)の飼養豚もCSFの疑似患畜とし、防疫措置を講じる(防疫措置対象: 825頭(1戸2農場))。

ワクチン接種で安心することなく、引き続き飼養衛生管理基準の遵守をお願いします

慢性型のCSFは、特徴的な症状がなく、気がつきにくい疾病です。

発熱、食欲不振、元気消失、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等

異状を発見したら、**すぐに家畜保健衛生所まで連絡ください。**

重症例は後肢麻痺、運動失調、四肢の激しい痙縮等の神経症状、皮下出血による紫斑を呈し死亡

連絡先: 山梨県東部家畜保健衛生所

電話: 055-262-3166 FAX: 055-262-3108

夜間・土日・休日の連絡先: 090-5535-8005

土日・休日の連絡先: 090-5544-7868

※野生動物の侵入防止対策

- 飼養衛生管理区域への
野生動物侵入防止 (外周柵の設置)
- 豚舎周辺の除草、木の伐採
- 豚舎内外の整理、整頓、清掃
- 飼料タンク下等エサこぼれ防止
- 堆肥舎、資材庫へも野生動物侵入防止
- 豚舎内のネズミの駆除
- 豚舎開口部への防鳥ネットの設置

※消毒の徹底

- 農場や豚舎の出入り口、周辺の消毒
- 農場に出入りする工事車両や農場の
従業員の車両を含めた全ての車両の
洗浄、消毒の徹底

※出荷の際の消毒に注意

- 出荷車両内外 (特に運転席) の消毒
- 運転手の更衣や長靴の履き替えを徹底

全農ホームページにて消毒の方法についての動画も公開中です。

<http://jacnet.zennoh.or.jp/boueki/index.html>